

本日、ここに平成24年第1回市議会臨時会が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、今月16日、手取川支流の宮谷川で本市の中学生とその祖父の方が滝つぼに転落し大切な命を失うという大変悲しい事故が起きました。

ここに、お亡くなりになられた方々に対し、心より哀悼の意を表します。

このような事故が二度と起こらないよう、早速教育委員会を通して市内小中学校に指導の徹底を通達したところでありますが、今後も関係機関と連携しながら注意を喚起してまいる所存であります。

次に、今月12日に閉幕し、日本が史上最多のメダルを獲得したロンドンオリンピックについてであります。

ご承知のとおり、女子柔道57キロ級では、本県出身の松本薫選手が見事、日本人選手第一号となる金メダルを獲得し、その勇姿は多くの皆さんに大きな感動と勇気を与えたところであります。

今後は、本市スポーツ選手の皆さんが、各種競技において日々精進を重ねられ、次のオリンピックを目指すとともに、松本選手に続くメダリストとならんことを大いに期待するところであります。

次に、ラウンハイム市友好訪問団の受入についてであります。

このたび、本市の親善友好都市でありますドイツ・ラウンハイム市のトーマス・ユーヘ市長が、友好都市提携15周年を機に、第30回ライン祭に出席するため来市されました。

ラウンハイム市とは、桑島化石の発見者でありますライン博士の生誕地ということで、平成9年に白峰村と友好都市提携を行い、合併後も友好関係を継続しているものであります。

「白山手取川ジオパーク」においても、桑島化石壁^{かべ}は重要なジオサイトと位置づけており、この度の本市訪問をきっかけに、両市の絆が一層深まるとともに、本市の貴重な地質遺産と豊かな自然、多彩な伝統文化がラウンハイム市のみならず、世界に広がっていくことを期待するものであります。

次に、北陸新幹線の整備進捗状況についてであります。

北陸新幹線につきましては、平成２７年春の長野・金沢間の開業に向け、着々と工事が進んでいるところでありますが、ご案内のとおり、去る６月２９日に金沢・敦賀間が正式に認可され、今月１９日に起工式が行われました。

このことは、北陸地方の経済発展に大きく寄与するものであり、本市にとっても大変喜ばしいものであります。

一方、この金沢・敦賀間の開業は、平成３７年度の予定であります。それと同時に、並行在来線には特急列車の運転が無くなるため、このままでは白山市内の各駅で新幹線や特急列車に直接乗降できなくなります。

このことは、特急停車駅である松任駅を有する白山市はもとより、周辺の市町^{しまち}にとっても大きなマイナスであり、経済活動や観光誘客を含めて市民の利便性が大きく損なわれるものであります。

本市では、この問題を解決するため、平成２１年８月に調査委員会を設置し、白山総合車両基地内に新幹線乗り場を設置できないか調査検討を重ねてまいりましたが、実現が極めて困難であることが判明したため、やむを得ず断念したところであり、先般開催されました「白山駅整備促進・まちづくり推進市民会議」におきましても、当面は在来線新駅を設置することに力点を置くことが決議されたところであります。

なお、この間、議員各位による勉強会も開催され、議員の皆様からも活発なご議論を頂いたところでもあります。

しかしながら、市といたしましては、在来線新駅の整備を含めた在来線の機能強化のみでは、関東・関西との連携には不十分であり、現状の利便性を確保できないことから、加賀笠間駅周辺の新幹線本線上におきまして、新駅を設置できないか検

討を始める所存であります。

今後は、議会をはじめ、市内各種団体と十分協議するとともに、県や近隣^{しまち}市町とも連携しながら、早期に新幹線乗り場の構想を策定し、同時に実現に向けた運動を大いに展開してまいりたいと考えておりますので、議員各位のご理解とご協力をお願いするものであります。

それでは、提案いたしました事件処分案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第 9 5 号の「建設工事請負契約」につきましては、入札結果に基づき条例の定めにより、議案第 9 6 号の「建設工事請負契約の議決の一部変更」につきましては、工事費の増額に伴い、契約金額に変更が生じたため、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

以上をもちまして、今臨時会に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。